

平成26年度 事業実績報告

1. はじめに

社会福祉法人若宮会における平成26年度の事業につきましては、当法人の基本理念と運営方針に基づき、特別養護老人ホーム事業をはじめ、短期入所生活介護（ショートステイ）事業やデイサービス事業、グループホーム事業において、高齢者の方々が充実した毎日を過ごしていただけるように、利用者の目線にあわせた質の高い福祉サービス等の提供に努めることを目標に、それぞれの事業を推進してきました。

しかしながら、高齢者施設を運営する社会福祉法人を取りまく状況として、平成26年4月の「政府規制改革会議」において、社会福祉法人の地域貢献活動の義務化や特養での低所得者対策などの公的な性格の強化、社福における内部留保については福祉サービスへ再投資をすべきとするなど、今後の社会福祉法人のあり方についての抜本改革案がとりまとめられています。

また、本年2月に介護報酬の見直しが行われ、平成27年度から29年度までの介護報酬の減額や介護職員の処遇改善加算等についての決定がされております。

このような状況の中で、当法人では、職員体制の充実を図りながら、地域における介護サービスの拠点となり地域から信頼される施設運営を目指して、利用者をはじめとした地域の方々のニーズに対応できるよう努めてきたところでございます。

その結果、特養をはじめ、ショートステイ、グループホーム、デイサービス事業における入所者及び利用者数は少しずつ増えてきている状況にあります。

また、昨年9月に開催しました「敬老会」では、ご家族の方々にも参加していただき入所者や利用者にも楽しんでいただくことができ、本年2月に初めて実施しました「回転ずし」では、入所者や利用者の方々に楽しい食事を提供できたのではないかと考えております。

しかしながら、昨年末頃からインフルエンザが流行し、ご家族の方々の面会等について配慮していただいたことなどもあり、入所者や利用者の方々の感染症等の予防や対策について十分に留意しながら取り組んでいく必要があると考えております。

また、昨年2月に発表されました県及び市からの是正指導につきましては、県や市と協議を行うとともに、その改善状況について毎月報告し、一定程度の改善を図ることができたのではないかと考えております。

当法人といたしましては、今後も入所者や利用者の方々に楽しく生活していただくために、ご家族をはじめ、地域や関係機関との連携を図りながら質の高いサービスの提供に取り組んでまいりたいと考えております。

2. 特別養護老人ホームの事業について

(1) 平成26年度の取り組み

特別養護老人ホーム「わきたの里」では、地域から信頼を得る質の高いサービスの提供を目指すとともに、入所者の人権を尊重し、自己決定や安心感、満足感を満たすサービスの向上に努めてきました。

そのため、個々の職員の資質や専門性の向上を図り、福祉サービスにふさわしい入所者とサービス提供者との対等な関係を確立することが必要であると考え、職員の勉強会や研修等を実施しながら、利用者の尊厳や自己決定などに十分配慮するとともに、入所者の状況にあったケアプランの作成に努めるなど、利用者の安心した生活支援に取り組んできました。

また、入所者の要介護認定申請による要介護者は平均介護度3.5（平成27年3月31日現在）となっており、年々重度化している状況にあります。

そのため、職員自らが誇れる介護技術とサービスの向上を図りながら、地域に親しまれる苑づくりに努めてきたところです。

その結果、特養の入所者は昨年度より増えてきており、ご家族や地域のニーズに対応することができるのではないかと思います。

(2) 重点目標の取り組み

① 運営の充実

- ・施設の運営にあたっては、利用者の人権尊重やプライバシーの保護に最大限配慮し、介護サービスの即応性や多様なニーズの対応に努めてきました。

② 職員の資質及び専門性の向上

- ・職員の資質及び専門性の向上については、身体拘束に関する研修会を開催し、職員の資質の向上に努めてきました。
- ・職員の参加体制等について工夫をしていく必要があると考えています。

③ 家族との連携

- ・家族との連携については、利用者のご家族とのつながりを維持していくために、利用者の心身の状況や変化等に関する情報提供を行いながら連携に努めてきました。
- ・利用者やご家族からの相談や苦情、クレーム等については担当者が積極的に吸い上げ迅速に対応するなど、その解決に努めてきました。

④ 給食

- ・利用者の給食については、給食業務委託業者との協力のもとに、食中毒防止などの衛生管理の徹底に努めてきました。
- ・入所者や利用者の方々に楽しんでいただくために、本年2月に「回転ずし」を実施しています。
- ・季節感のある献立や利用者の嗜好に配慮した食事の提供に努めてきました。

- ・今後も入所者の声を聞きながら、よりよい食事の提供に努めていく必要があります。

⑤看 護

- ・入所者や利用者の基礎疾患を基にした健康管理を行うとともに、特に予測される病態を把握することにより異常の早期発見、早期受診に努めてきました。
- ・入所者の健康管理を行うために、嘱託医（内科、整形外科、精神科）による診察を定期的実施してきました。
- ・入所者の健康状況に応じて、介護職員や嘱託医との連携を図るなど、職員が一丸となって取り組む体制の確立に努めてきました。
- ・年度当初から入院者が多かった状況や昨年末にインフルエンザが流行したことなどから、嘱託医やご家族との連携や日々の健康管理に注意して、少しでも入院者の減少を図り健康で健やかな生活を支援していく必要があると思います。

(3) 入所者等の状況

①入退所状況（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

入・退所年月日	人数	累計	備 考	入・退所年月日	人数	累計	備 考
1 H26. 4/4	4 8	+ 1	在宅	22	10/16	5 1	1 在宅
2 4/8	4 9	+ 1	経費老人	23	10/26	5 2	1 GH
3 4/26	5 0	+ 1	在宅	24	10/31	5 1	- 1 死亡
4 5/18	4 9	- 1	長期入院	25	11/2	5 2	+ 1 在宅
5 5/21	4 8	- 1	長期入院	26	11/13	5 1	- 1 長期入院
6 5/21	4 9	+ 1	病院	27	11/14	5 0	- 1 長期入院
7 6/3	4 8	- 1	死亡	28	11/27	5 1	1 病院
8 6/6	4 9	1	病院	29	12/21	5 0	- 1 長期入院
9 6/9	5 0	1	在宅	30	12/24	5 1	1 在宅
10 6/14	4 9	- 1	死亡	31 H27. 1/8	5 2	1	1 再入所
11 6/29	4 8	- 1	死亡	32 1/27	5 1	- 1	1 長期入院
12 7/8	4 7	- 1	死亡	33 1/28	5 2	1	1 在宅
13 7/23	4 6	- 1	長期入院	34 2/4	5 1	- 1	1 長期入院
14 7/23	4 7	1	再入所	35 2/12	5 2	1	1 病院
15 7/27	4 6	- 1	死亡	36 2/18	5 1	- 1	1 長期入院
16 7/27	4 7	1	在宅	37 2/19	5 2	1	1 病院
17 8/1	4 8	1	ケアH	38 3/8	5 1	- 1	1 死亡
18 9/2	4 9	1	在宅	39 3/9	5 2	1	1 在宅
19 9/18	5 0	1	GH	40 3/9	5 1	- 1	1 長期入院
20 10/4	5 1	1	在宅	41 3/10	5 2	1	1 在宅
21 10/8	5 0	- 1	死亡	42 3/18	5 1	- 1	1 死亡

②入所者の介護度状況（平成27年3月31日現在）

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均
男性	1	2	6	6	2	17	3.3
女性	1	6	3	18	6	34	3.7
計	2	8	9	24	8	51	3.5

③月別入所実績(延べ人数)

月	人数	1日平均人数	月	人数	1日平均人数
4月	1,260	42.0	10月	1,420	45.8
5月	1,353	43.6	11月	1,429	46.0
6月	1,296	43.2	12月	1,508	48.6
7月	1,322	42.6	1月	1,383	44.6
8月	1,323	42.1	2月	1,283	45.8
9月	1,264	42.1	3月	1,486	47.9
合計				16,327	44.7

3. 短期入所生活介護（ショートステイ）事業について

(1) 平成26年度の取り組み

ショートステイ「わきたの里」では、ご家族の心身の負担を軽減しながら地域で安心して暮らせることを基本として、事前の訪問調査によるADL調査や精神状態、利用者の日常の行動等を把握するとともに、認知症による問題行動や転倒等のリスク等について説明を行い、利用者一人ひとりの状況にあったサービスの提供に努めてきました。

また、ご家族や地域のニーズに対応していくために、職員体制の充実を図りながら利用者の処遇の向上に努めてきたことにより、利用される方々が増えてきている状況にあります。

特に、当施設は、特別養護老人ホームと併設していることなどから、きめ細かなサービスの提供までには至っていないと思われませんが、ご家族や地域、居宅支援との連携を図りながら、利用者の拡大やよりよいサービスの提供に努めていく必要があると考えております。

(2) 重点目標の取り組み

①介護意識の向上

- ・利用者のADL状況や精神状態等を把握しながら、適切な介護方法等について検討してきました。
- ・ケアプランの立案及び他のサービス機関との連携を図りながら、事故等が発生しないような支援に努めてきました

②健康管理の徹底

- ・常に利用者の健康状態に注意し健康保持、リハビリ訓練することによりADLの向上、現状維持に努めてきました。

③相談及び援助

- ・利用者やご家族からの相談に適切に応じるとともに、利用者の置かれている環境等の適切な把握に努め必要な助言等を行うなど、信頼関係の構築に努めてきました。

④緊急時における対応

- ・利用者の病状等が急変した場合は、ご家族や主治医、事業者が定めた協力医療機関へ連絡を行うとともに、速やかな対応とその措置に努めてきました。

(3) 入所者の状況

⑤月別利用実績

月	要支援		要介護					計	延利用 日数	1日平 均
	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5			
4月			4	2	2	3		11	107	3.5
5月			2	3	4	2		11	127	4.0
6月			2	4	5	4		15	165	5.5
7月			2	3	5	3		13	217	7.0
8月			2	3	5	3		13	200	6.4
9月			1	4	5	5		15	166	5.5
10月	1	1	2	5	4	4		15	205	6.6
11月	1	1	2	3	4	4		13	170	5.6
12月	1	1	2	2	4	3		11	158	5.0
1月			3	2	4	4		13	154	4.9
2月			4	3	3	4		14	173	6.7
3月			2	1	3	4		10	168	5.4
合計	3	3	28	35	48	43		154	2,010	5.5

4. デイサービスセンター事業について

(1) 平成26年度の取り組み

デイサービスセンター「わきたの里」では、老人福祉の基本的理念である「生きがいを持てる健全で安らかな生活の保障」を基本として、利用者一人ひとりの状況を把握するとともに、在宅自立生活を援助目標に、ご家族や関係機関との連携を図りながら、きめ細かなサービスの提供に努めてきました。

利用者には、施設のめぐまれた環境や家庭的な雰囲気の中で楽しく利用していただいておりますが、利用者が少ない状況にあるため、今後、地域包括支援センターや関係機関と連携しながら、新規利用者の確保を行っていく必要があると考えております。

(2) 重点目標の取り組み

①職員意識と質の向上

- ・職員間でその日の業務を確認するとともに、必要なサービスを確実に提供できるよう努めてきました。
- ・利用者の情報を的確に把握し、利用者一人ひとりに適したサービスを提供するために職員カンファレンスを行ってきました。

②リハビリ訓練等の強化

- ・利用者の機能低下（重度化）が進む中で、可能な限りの在宅自立生活を目標として、作業療法としての豆運び（食べこぼしが少なくなった）や食事前の口腔体操、リハビリ体操を行うなど、残存機能の維持及び低下防止に努めています。

③事故の防止

- ・加齢や自立意欲の減退等による利用者の機能低下（重度化）に伴い、歩行時のふらつき、筋力低下による躓きなどの事故防止に努めてきました。

④個別援助等の強化

- ・利用者一人ひとりの心身状態を把握しながら、ケアプラン更新時の援助方針の検討を行ってきました。
- ・計算問題、折り紙、漢字の読み書きなど利用者のニーズに沿った援助に取り組んできました。

⑤レクリエーション等の充実

- ・利用者と職員の共同による「追い出し猫」の貼り絵を作製するなどチームワークやコミュニケーションの充実に努めてきました。

⑥利用者の確保

- ・地域包括支援センターや各居宅事業所（ケアマネージャー）との連携を図りながら新規利用者の確保に努めてきましたが、現在の利用者数が6名であることを踏まえ、今後、新規利用者の確保を図っていく必要があると考えております。

⑦健康管理

- ・利用者を迎えに行ったときの健康状態の把握や、サービス提供時の体調観察、発病時の措置等に努めてきました。

- ・認知症の方や一人暮らしの方については、朝の服薬の確認を行うなど、薬の飲み忘れの防止を行っています。

⑧家族介護の負担軽減

- ・老々介護をされているご家庭もあることから、利用者だけでなくご家族の介護負担を増やさないようにするためショートステイ事業の活用を進めるなど、ご家族の介護負担の軽減に努めてきました。

(3) 利用者の状況

①月別利用実績

月	通所介護（要介護1～5）				介護予防（要支援1・2）				全体平均 利用者数 (1日)
	登録者 数	延利用 者数	開設日 数	1日平均 利用者数	登録者 数	延利用 者数	開設日 数	1日平均 利用者数	
4月	3	18	13	1.3	2	21	13	1.6	3.0
5月	2	20	13	1.5	2	21	13	1.6	3.1
6月	2	19	13	1.4	2	20	13	1.5	3.0
7月	3	27	13	2.0	2	20	13	1.5	3.6
8月	2	19	11	1.7	2	17	11	1.5	3.2
9月	2	25	13	1.9	2	21	13	1.6	3.5
10月	4	42	16	2.6	2	22	16	1.3	4.0
11月	3	35	14	2.5	2	19	14	1.3	3.8
12月	3	37	16	2.3	2	20	16	1.2	3.5
1月	4	46	14	2.5	1	7	14	0.5	3.7
2月	3	33	13	2.5	1	8	13	0.6	3.1
3月	4	33	13	2.5	1	9	13	0.6	3.2
合計	35	354	162	2.1	21	205	162	1.2	3.4

5. グループホーム事業について

(1) 平成26年度の取り組みについて

グループホーム「わきたの里」では、入居者の方々の生活を基本として、入居者の個々の状態を日々把握し、職員内での情報の共有を図りながら笑顔で接することに心がけ、入居者の思いやそれぞれのペースを尊重し、各種の行事や季節の移り変わり等を体感していただきながら、安心して穏やかに過ごしていただけるよう努めてきました。

(2) 重点目標の取り組み

①運営推進会議の活用

- ・運営推進会議を2ヶ月に1回定期的に開催（年6回）
- ・出席者の方々から貴重なご意見をいただきながらグループホームの運営に活用してきました。

②入居者の健康管理

- ・2週間に一度の往診の実施をはじめ、協力医による健康診断やインフルエンザの予防注射も実施をするなど、入所者様の体調管理に努めてきました。
- ・平成26年度はインフルエンザやノロウイルス、嘔吐・下痢等の蔓延もなく、発症者0名で冬期を乗り越えることができました。
- ・入院者は減少していますが、転倒による圧迫骨折があったため、転倒防止やその再発防止に努めてきました。

③緊急時の対応

- ・日勤、夜勤ともに緊急時には24時間体制医療機関と連絡を取り対応しました。
- ・日々の状態変化に注意し、急変時にも迅速な対応ができるよう、看護師との連携も図りながら早目の受診を行ってきました。

④支援方法

- ・入居者様の高齢化や介護度の重度化、症状の重症化により、経過観察を十分に行いその都度再検討を重ねました。
- ・職員間の情報共有と支援方法の統一化を心掛け、医師との密な連携を図り、安心して気持ちの良い介護を受けていただけるよう努めてきました。

⑤職員の資質向上

- ・毎月の研修については、日々の業務に追われ定期的に実施することができなかった。
- ・外部研修も全員が参加できませんでしたが、来年度は、なるべく多くの職員にスキルアップの機会を与えられるよう努めます。

⑥職員体制

- ・今年度より職員を1階と2階で固定せず、全員が両階の勤務可能なように月毎にシャッフルし、職員一人ひとりが18名全ての入居者様の状態を把握できるよう努めてきました。

(3) 利用実績等について

①利用者の状況

- ・平成26年度平均…15.9人（平成27年4月1日現在18人）
- ・平成26年度新規入所者及び退所者数…新規入所4名、退去者1名
- ・平均年齢及び介護度…85.3歳、平均介護度2.2
 - *1階が86歳で介護度2.9、2階が84.7歳で介護度1.6
- ・入居者の所在地…宮若市17名、糟屋郡篠栗町1名
- ・入院者数…延べ4名（内科系2名、整形外科2名）

②月別利用実績

月	延利用者数	1日平均利用者数	月	延利用者数	1日平均利用者数
4月	393	13.1	10月	525	16.9
5月	443	14.2	11月	533	17.7
6月	444	14.8	12月	546	17.6
7月	447	14.4	1月	526	16.9
8月	455	14.6	2月	490	17.5
9月	440	14.6	3月	558	18.0
合 計				5,800	15.9